

ひだまり



日光市立大室小学校

保健だより 2月号

かぜの予防を しよう！

立春とは名ばかりで、記録的な大雪が降るなどまだまだ寒い日が続いています。しかし、寒い寒いと言いながらも、花屋さんを覗いてみると、チューリップやら桃の花などが並べられ、春がもうすぐそこまで来ていることを感じさせてくれます。

本校では今のところインフルエンザや感染性胃腸炎の流行や目立った欠席の増加もなく、落ち着いた状態が続いています。このまま春を迎えられるとよいのですが、まだまだ油断は禁物です。うがい手洗い等の予防を引き続きお願いいたします。



2月のつぶやき

「すごーい真っ白！」
「やったあ！」
「外に行ってもいいですか？」

8日は45年ぶりとも言われる記録的な大雪が降りました。休み時間になると子どもたちは、待ってましたとばかりに外に飛び出し、大の字に寝てみる等思い思いに遊んでいました。我が家の子どもたちが小さい時も一面の雪景色を見てうれしくて、パジャマのまま飛び出して行ったのを思い出しました。自分はいつの間にかそんな気持ちを忘れてしまったように思います。

学校では子どもたちに囲まれているせいか、子どもの頃のことを思い出すことがよくあります。日々の生活の中で、つい大人の理屈を押しつけたり、子どもの気持ちを受け止められなかったりと反省することがありますが、自分が子どもの時はどうだったかなと考え、子どもの気持ちに寄り添える保健室でありたいとあらためて思う雪の日になりました。



勉強しました！



○先月、2年生のクラスで「ぼく、わたしのたんじょう」について勉強しました。この授業では、

- ・赤ちゃんの始まりはとても小さいこと
- ・お母さんのお腹の中で大切に守られてきたこと
- ・自分の誕生をみんながとても楽しみに待っていたこと
- ・たくさんの愛情に囲まれて今日まで大きくなったこと

等を学びます。

○授業では、実際に生まれたばかりの赤ちゃんと同じ大きさの赤ちゃん人形をみんなに抱いてもらいました。「重い」「やわらかい」「首がぐにゃぐにゃ」と言いながら、ちょっと恥ずかしそうに抱いていました。



○この授業を通して、いのちの大切さや自分の生の喜びを感じてくれればと思います。みなさまのご家庭でも時にはお子様が生まれた時のことを話題にしてみてください。性教育は愛情教育と言われていますが、自分のいのちだけでなく周りの友だちのいのちもまた「大切ないのち」ということに気づき、思いやりの気持ちにつながることを願います。

引き続き注意をお願いいたします！

近隣校でのインフルエンザによる学級閉鎖や、全国的な感染性胃腸炎の流行が続いています。冒頭でも触れましたように本校では目立った欠席の増加はありませんが、引き続き注意をお願いいたします。手洗いは20秒以上かけて、指の間、手の甲、親指のまわり、手首まで、しっかり洗いましょう。また、咳が出るときのマスクの着用もお願いいたします。

マスクの正しいつけ方！

- ・マスクは肌との密着感がポイントです。
- ・鼻から頬、顎の全体をしっかりと覆いましょう。
- ・自分の顔の大きさにあったサイズが大切です。

